

令和元年度

令和2年3月

後期 学校評価アンケート結果について

京都市立乾隆小学校
校長 山本 太郎

先日実施いたしましたアンケート集計結果をお知らせいたします。回収率は、前期よりも上がり78%でした。ご協力ありがとうございました。

(右帯グラフ参照) 問1, 問2, 問10については、高い評価をいただきました。今後も、家庭・地域のご協力をいただき、子どもたちにしっかりと学力をつけていく取組を進めていきたいと考えています。

問3については、前回と同様に高い評価をいただいています。子どもたちも90%以上が学校は楽しいと感じている結果が出て、保護者の方からは、「毎日元気に学校へ通っています。」「楽しく過ごしています。」というお声も聞かれます。関連して問8についても高い評価です。引き続き、一人一人を大切にした学級経営を意識すると同時に、子どもたち自身が成就感・満足感を感じられる学校行事や縦割り活動、グループ活動を進め、人や物を大切にする指導をしていきたいと考えています。問4については、前回同様、保護者の評価と教職員の評価に差が出ています。家庭での学習習慣がしっかりと身につくとともに、一人一人の課題にあった学習の提供や自分自身で学習計画を立てながら基礎基本の定着が図れるような取組を工夫しながら進めていきたいと考えます。

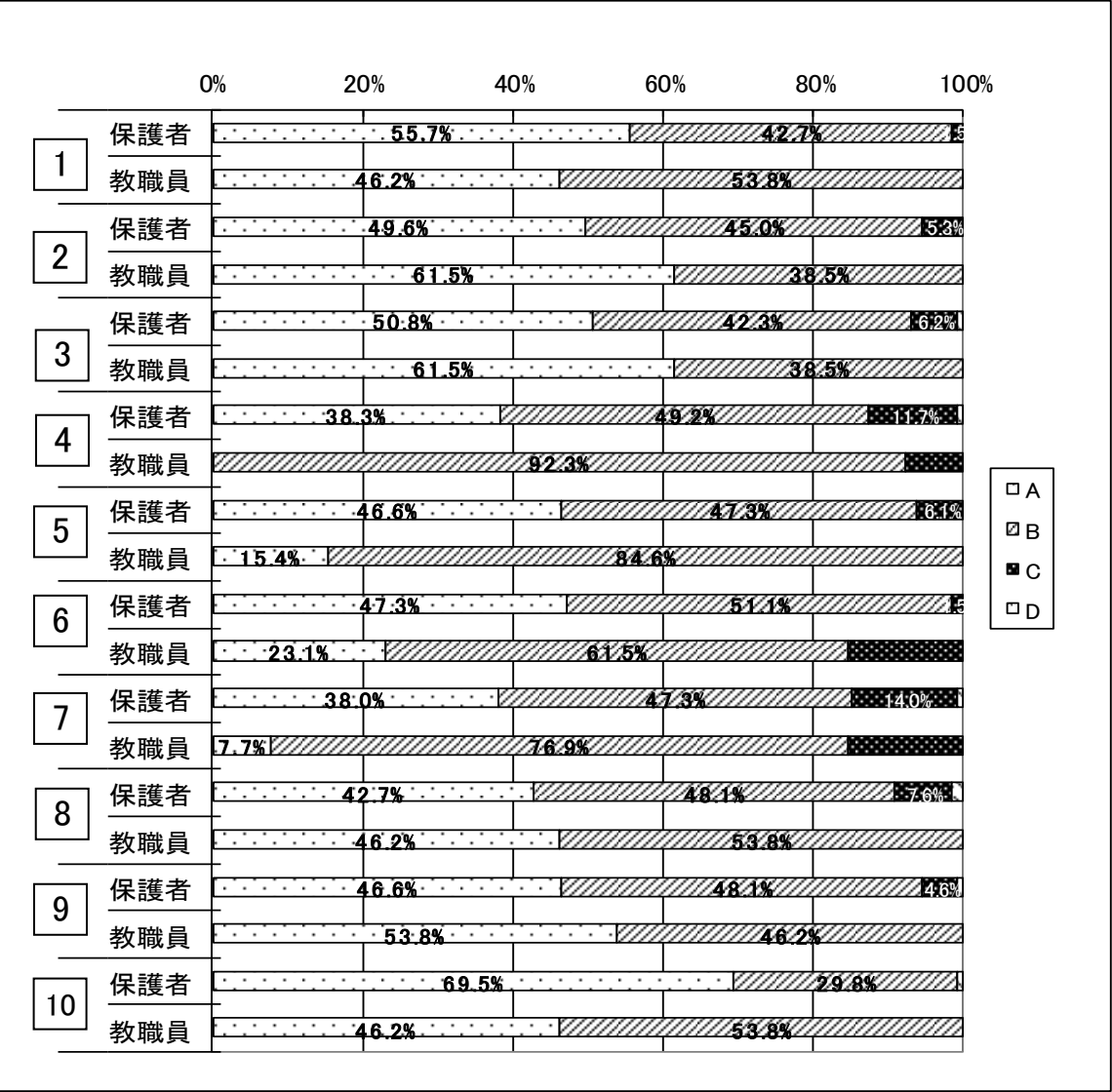
問7については、各家庭、また児童一人一人により生活リズムは違うことと思いますが、生活リズムが乱れて健康を害することがないように、児童に指導を続け、家庭とも協力していきたいと考えます。

- ・乾隆小学校では、図書ボランティアの方と学校司書の先生とで相談し、教育後援会の予算から図書を選定、購入していただいている。また、朝の読聞かせをはじめ、いろいろな企画を行っている。子ども達にとっては、とてもよい取り組みとなっている。いろいろな本に親しみ、進んで読む子ども達をしっかりと育ててほしい。
- ・学校司書の先生と担任で相談し、学習を深める資料などを充実させているのはとてもよいことである。

また、保護者の皆様からは、記述式でのご意見・ご要望等も頂きました。頂いたご意見等を検討し、これからの取組に反映していきたいと考えております。

アンケート項目

- 問1 教育方針や取組内容を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。
- 問2 教育目標の達成に向けて、情熱を持って教育にあたっている。
- 問3 子ども一人ひとりが大切にされて、認められる学校づくりを進めている。
- 問4 宿題や家庭読書など家庭での学習習慣が身についている。
- 問5 教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている。
- 問6 集団での規律やマナーなどが身に付くような取組を進めている。
- 問7 早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身についている。
- 問8 子どもが成就感や満足感を感じながら学校生活を送れるような取組が進められている。
- 問9 子どもに力をつけてほしいという保護者の思いや願いに応えようとする姿勢が見られる。
- 問10 様々な取組や行事等を通して、家庭・地域と協力して子どもの教育にあたっている。



A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない